

各 位

会 社 名 株式会社フロンティア
 (コード番号4250 福証Q-Board)
 代 表 者 名 代表取締役社長 山田 紀之
 問 合 せ 先 取締役管理部長 松前 亮
 T E L 092-791-8688
 U R L <https://all-frontier.com/>

**2025年11月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異
 及び通期連結業績予想の修正
 並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2025年1月15日に公表いたしました2025年11月期第2四半期(中間期)連結業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2025年1月15日に公表いたしました2025年11月期通期連結業績予想につきまして下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

さらに、同取締役会において、2025年5月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)について決議し、併せて期末配当予想につきましても下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異及び修正

(1) 2025年11月期 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異(2024年12月1日~2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 827	百万円 20	百万円 18	百万円 12	円 銭 18.38
実績値(B)	855	59	60	43	62.07
増減額(B-A)	28	39	42	30	
増減率(%)	3.4	192.6	229.1	237.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年11月期第2四半期)	778	1	10	10	15.53

(2) 2025年11月期 通期連結業績予想の修正(2024年12月1日~2025年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,821	百万円 62	百万円 57	百万円 44	円 銭 63.73
今回修正予想(A)	1,647	106	107	73	105.61
増減額(B-A)	△174	43	49	29	
増減率(%)	△9.6	68.6	87.5	65.7	
(ご参考)前期実績 (2024年11月期)	1,634	23	29	27	39.28

(3) 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正の理由

当中間連結会計期間につきましては、主にPB販売事業において、一部自動車メーカーの認証不正問題による生産停止の影響により停滞していた自動車生産台数が順調に改善している他、インバウンドや国内旅行によるリース・レンタカー需要の増加を見込み、取り扱う企業への営業活動を強化等の取り組みにより、当中間連結会計期間において増収増益となりました。

通期の業績予想につきましても、PB販売事業においては、引き続き販売が好調に推移すると見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも公表済みの業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正について

(1) 2025年11月期 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年1月15日発表)	前期実績 (2024年11月期中間)
基準日	2025年5月31日	同左	2024年5月31日
1株当たり配当金	15円00銭	0円00銭	0円00銭
配当金の総額	10,419千円	—	—
効力発生日	2025年8月29日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 2025年11月期 配当予想の修正

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (2025年1月15日公表)	0円00銭	15円00銭	15円00銭
今回修正予想		15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭		
前期実績 (2024年11月期)	0円00銭	10円00銭	10円00銭

(3) 修正の理由

当社グループは、各事業年度の業績と将来の事業展開を勘案し、企業基盤の強化のため内部留保にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を継続することを基本方針としております。

2025年11月期の中間配当につきましては、1株当たり0円00銭を予想しておりましたが、当中間連結会計期間の業績及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、1株当たり15円00銭の配当を実施することといたします。これに伴い年間配当予想についても修正いたします。

(注) 上記見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上